



ごみゼロ リーダーNEWS 第13号

令和3年2月発行

新型コロナウイルスなどの感染症対策について

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方やその疑いのある方などがご家庭にいらっしゃる場合、鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、以下の『ごみの捨て方』に沿って、「ごみに直接触れない」「ごみ袋はしっかりしばって封をする」そして「ごみを捨てた後は手を洗う」ことを心がけましょう。

ごみの捨て方

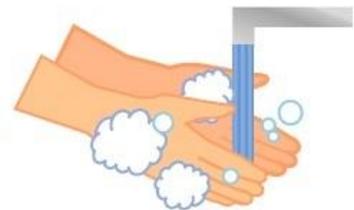
①ごみ箱にごみ袋をかぶせませす。いっぱいになる前に早めに②のとおりごみ袋をしぼって封をしましょう。



②マスク等のごみに直接触れることがないようにしっかりしぼります。



③ごみを捨てた後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。



※万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。

『ごみの捨て方』に沿っていただくことにより、ご家族だけでなく、皆様が出したごみを扱う市町村の職員や廃棄物処理業者の方にとっても、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどの感染症対策として有効です。



おおさかプラスチックごみゼロ宣言の取組みのひとつとして、急な買い物の時も含めてレジ袋を使用することのないよう、エコバッグを常に携帯する「大阪エコバッグ運動」を推進しています。

レジ袋削減に取り組みましょう。

レジ袋を断ると



- **ごみ減量**
約10グラムのごみ減量になります
- **資源の有効活用**
約18.3ミリリットルの原油が不要となります
- **CO₂の削減**
約61グラムCO₂を削減できます

廃棄物減量等推進員（ごみゼロリーダー） の活動内容について

私たちがよく聞かれるのが、新しく廃棄物減量等推進員（通称：ごみゼロリーダー）になられた方から「推進員って、具体的に何をすれば、いいの？」という質問です。

- ① ごみ減量（リデュース・リユース・リサイクル）の普及啓発
➡ 「ごみ減量アクションプラン」を活用した地域での学習会の実施
- ② 再使用（リユース）、再生使用（リサイクル）の実践活動の促進
➡ 地域の連合・町会に対し資源集団回収の説明や各区ガレージセールへの従事
- ③ 地域みなさんに対して分別排出の促進
➡ 大阪府が実施している資源ごみ収集や容器包装プラスチック収集、古紙衣類収集に対し排出協力などの啓発
- ④ ごみ減量・リサイクルなどに関する意見及び情報の提供
➡ 地域のみなさんから意見などを聞いた際に、環境事業センターへ伝達及び、研修会で得た情報や知識を地域のみなさんへ提供
- ⑤ 美化活動の取組み促進
➡ 大阪府一斉清掃（大阪マラソン“クリーンUP”作戦やボランティア清掃）の啓発など地域での美化に関する活動の促進
- ⑥ 小学校での体験学習における協働
➡ 小学4年生を対象にした中部センターの出前授業を実施する際の協働

※主に以上のことを環境局と協働しながら地域での啓発に取り組んでいただけます。

ごみゼロリーダーを中心に3Rに取り組んでいきましょう



《編集・発行》

大阪市環境局 中部環境事業センター

大阪市東住吉区杭全1-6-28

TEL：06-6714-6411

FAX：06-6714-7787

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

